

関東ふれあいの道(千葉)㊾東京湾を望むみち

2023年10月4日池内淑皓

2023年9月16日(土)。残暑はまだまだきつかったが、9月中に千葉県コースを歩き終えようと、出かけた。このコースも、保田駅から林道口間で、がけ崩れ箇所があって、千葉県のホームページ情報では、通行禁止となっていたが、歩けなければ日本寺経由で歩こうと思い出かけた。



関東ふれあいの道(千葉)「㊾東京湾を望むみち」案内板(首都圏自然歩道連絡協議会)



歩行路概念図



歩程表 ここでは 8.4kmと表示されている



横浜を 7 時に出れば、内房線保田駅には 10:15 に着く



今日も暑いが、真夏の服装に着替え、水 2 リットルを持って出発



線路沿いに歩いて、道標通りに導かれて JR ガードを潜る



上原の集落で日本寺へ行くコースと別れ、右折して林道口コースに向かう



観光客やハイカーが多いせいだろう、素敵な道標が建てられていた



照り返しの強い舗装道路を歩き続けて、富津-館山高速道路を潜ると



間もなく舗装が切れて、木陰が嬉しい砂利道の林道に入る



千葉県のHPにある通り、この先崩落のため通行止め。駄目なら戻る。とにかく行ってみよう



山側の崖が崩れて、岩屑が道路を塞いでいる



よく見ると、トレースされた踏み跡が見える、歩けそうだ。



アルプスを歩くと出会う、"ガラ場"だね。楽ちんに通過できる



崩壊場所を過ぎれば、また、快適なウォークコースが待っている



雨が運んだ木屑、岩屑だろう。支障なく歩ける



峠近くに差しかかると、強烈な岩襖(いわぶすま)に出会う、石を切り出した跡か



ノミの跡も見えないし、地層がはっきり見えるが、断層でもなさそうだ



石切り場跡が正解だろうね、道がしっかりしているから



林道と鋸山へ向かう尾根の分岐点(林道口出会)、ここまで1時間半かった



林道を離れて鋸山(329m)の尾根に取りつく



暖帯林が繁茂する明るい尾根を歩く



当然岩山の尾根であるから、ゆるやかな岩峰もある



痩せた尾根もあるが、危険はない。雨が来たら滑りやすいかも



急な斜面には、岩肌に階段が彫り込まれている



楽しい登降を繰り返しているうちに、ひょっこり鋸山頂上に着いた



折角ここまで来たのだから、記念に一枚



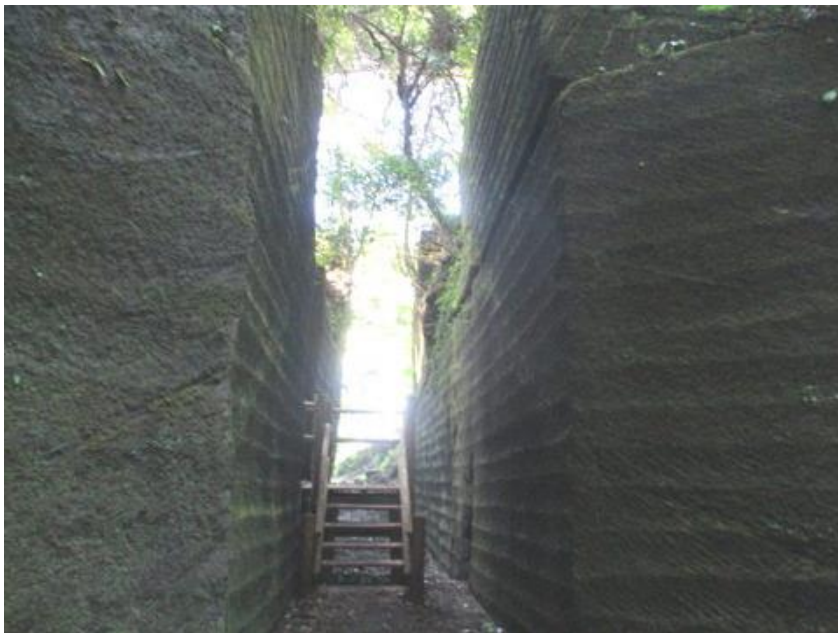
鋸山は一等三角点の山であるが、木々に遮られて、木更津方面のみ視界が開けている



ここは行楽客がロープウェイに乗って、遊びに来る遊歩道であるから、案内板は完璧だ



下山路は、一般行楽客が通る道。石切り場跡の通路を縫うように通り抜ける



切り出した石は「房州石」と呼ばれ、江戸時代から昭和 60 年まで採石された



加工しやすいから港湾設備、神社、蔵等に利用された、靖国神社にも使用されている(尖った箇所は地獄のぞき)



石切り場跡、石材運搬路等は産業遺産として後世に残された



展望台に登ってみよう



丁度、久里浜－金谷間のフェリーが到着する



勝山、館山方面を望む。今回のコースタイトルにピッタリの風景だ



切りだした石を運んだと言う「樋道」(石の滑り台)を通る。産業遺産を踏みにじんで良いのか、心が痛む



産業遺産は岩に刻まれた石段も含まれる、ここも石切り場に向かう通路だと言う



金谷の集落に下れば、駅はすぐ。休日なのに人気は少ない



浜金谷から君津に出て、外房線で東京に向かう。車内で飲むビールが楽しみだ

[参考タイム] 保田駅(10:15)→林道口(11:57-12:20 昼)→鋸山頂上(13:26-13:40)→
展望台(14:00-14:05)→浜金谷駅(15:30-16:01)

この項完

関東ふれあいの道(千葉)「㊦川と沼をつなぐみち」に続く